

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

がんばった太二いお

神山小学校 五年 岩川 直生

「よし」のぼるぞい。

ぼくたちは、しゅくはく学しゃうの中の一

つの活どうとして、自谷うん水きようの太二

いおにのぼりました。

まず、のぼるまえにガラス全いで写しん

をとりました。ぼくは、はじめ太二いおに

のぼるので、おくおくしていました。

まるちゃん先生とさっちゃん先生の二の手

いムにおが末てのぼりました。ぼくは、まる

ちゃん先生チームでした。やくしくんわりお

ちゃんもおなじチームでした。

のぼりはじめると、たくさんのお山者とす

れちがいきました。そのたびに大きなこえであ

いさつしました。

「元気いいね。がんばってい。

といおれると、もうおしいでした。

大きな木やみどりの中をすすんでいくと、

ついはしがありませんでした。

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

ぼくは、やがして、も、あまり、おく、り、ま、せ
んで、した。下には、川が、な、が、あ、て、い、て、水が、き、も
ち、よ、さ、そ、う、で、し、た。

あ、す、ん、で、い、く、と、ち、や、う、た、く、さ、ん、の、す、ぎ、の
木が、あ、り、ま、し、た。ま、る、ち、や、ん、先、生、が、す、ぎ、の
木、の、こ、と、き、い、ろ、い、ろ、せ、つ、め、い、し、て、く、れ、ま、し、た。
め、ず、ら、し、い、は、は、の、こ、と、も、お、し、え、て、く、れ、ま、し
た。

ま、る、ち、や、ん、先、生、す、ぎ、い、な、い、
な、ん、で、も、し、つ、て、い、る、ま、る、ち、や、ん、先、生、が、

「こ、の、水、の、ぬ、る、ん、だ、よ。」

と、こ、つ、を、出、し、ま、し、た。み、ん、な、交、た、い、で、の
み、ま、し、た。と、つ、て、も、お、い、し、い、天、あ、り、水、で、し、た。

ど、ん、ど、ん、み、ど、い、の、中、を、す、す、み、ま、し、た。足、が
す、づ、し、つ、か、あ、て、き、ま、し、た。ま、た、あ、せ、も、た、く

さ、ん、で、て、ぎ、ま、し、た。
「お、ひ、る、ご、は、ん、ま、で、も、う、す、こ、し。」

と、い、い、い、な、が、ら、が、ん、ば、り、ま、し、た。
「こ、こ、で、お、ひ、る、い、い、よ、う。」

先、生、が、い、っ、た、の、で、み、ん、な、で、い、す、お、り、ま

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

したの先生がらおかんとうをもらってたやま
したのみんなでたやるおかんとうは、とって
もおいしかったです。
「さあ、のこりあとすこしがんばろう。
太刀いおのてっぺんまで、あとすこです。
でも、二二がらが大人でした。さがが、き
やうになり、木をつかみながで、ないとのぼ
えませんでした。足もどんどんいたくなっ
のどもかおきました。
でも、空があつしがつみえてきたので
「もうすぐだ。」
とがんばれました。
「やうたあ、ちよう上だい。
はじめてみる太刀いおのちよう上は、さいこつ
いきれいでした。
きついときもあつたけど、それのりつえ
てがんばったから、見るこができたけしき
なんだとおもいました。

No.

3

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

